

【調査レポート】

結婚式の費用 300 万円！ 3 人に 1 人は挙式せず

ご祝儀は 122.1 万円、7 割では親からの援助も

カネとホンネ調査研究所は、都市部（※）に居住する 20～39 歳の既婚男女 412 名を対象に、結婚式にかかる費用についてのアンケート調査を実施しました。

※東京、愛知、大阪、福岡

カネとホンネ調査研究所は、働く世代の日常的な懐事情や、人生の節目における金勘定を、その本音とともに調査することで実態を解明し、広く世の中に提供することを目的としています。

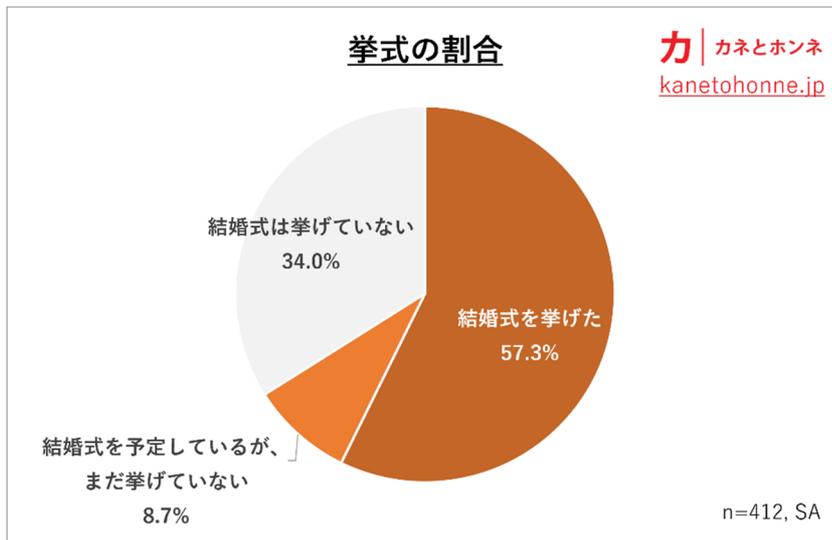
今回の調査によって、結婚式の費用は平均で 300.2 万円、自分たちの貯金からの拠出した額は 133.8 万円、親から援助を受けたカップルが約 7 割おり、その額は 76.3 万円、ご祝儀は 122.1 万円であることが分かりました。けっして安くはない費用が掛かる現況で、結婚式を挙げた割合は 66.0%、逆に挙げていない割合は 34.0%となり 3 人に 1 人は挙式していません。一生に一度の晴れ舞台とはいえ、多額の費用が掛かる結婚式を躊躇するカップルが少なからず存在するのかもしれませんが。

調査サマリー

1. 結婚式を挙げる？ 挙げない？ 3 人に 1 人は挙式せず
2. 結婚式には平均 300.2 万円かかる！
3. 貯金からの拠出は平均 133.8 万円！
4. 親からの資金援助、約 7 割！
5. ご祝儀で賄うにはほど遠い！？ 6 割は自己資金で

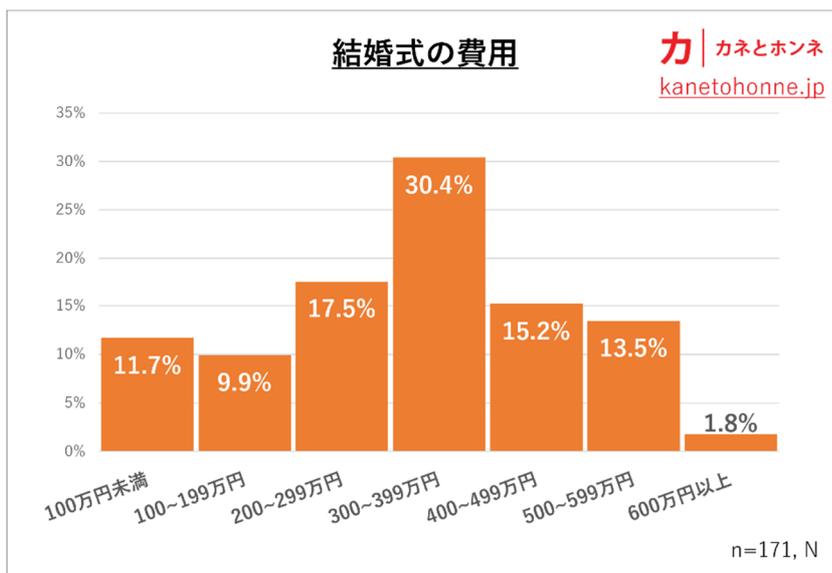
1. 結婚式を挙げる？ 挙げない？ 3人に1人は挙式せず

結婚式を挙げた（もしくは予定している）割合は 66.0%でした。逆に、結婚式を挙げていない割合は 34.0%で、3人に1人は挙式していないことが分かりました。結婚式にかかる、安くない費用が影響しているのかもしれません。



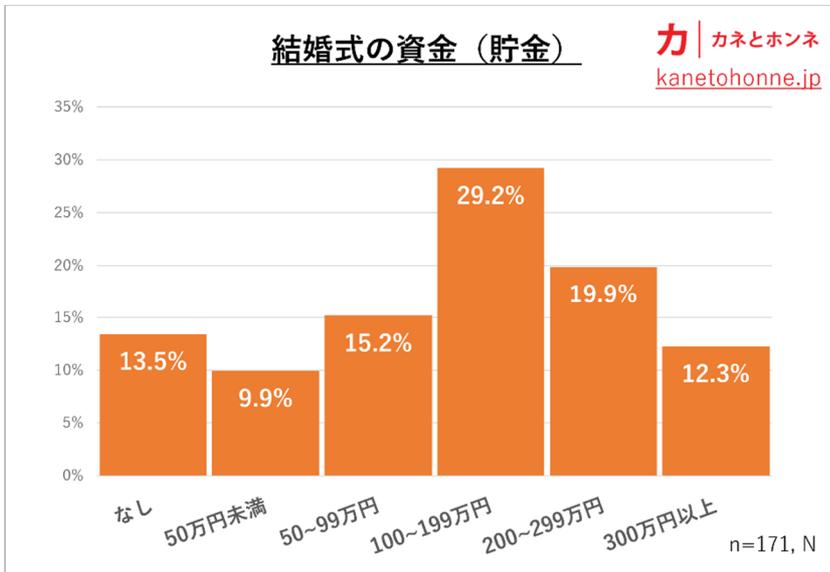
2. 結婚式には平均 300.2 万円かかる！

結婚式にかかる費用の平均は 300.2 万円。費用の分布をみると、300 万円台が 30.4%と多数を占めています。親族やごく親しい間柄の知人のみを招待したと思われる 100 万円未満の挙式は 11.7%。もちろん、この他に結婚指輪や新婚旅行、新居への引っ越しなども必要になるものと思われます。一生に一度の晴れ舞台とはいえ、やはり 300 万円の壁は挙式を躊躇するのに十分な金額なのかもしれません。



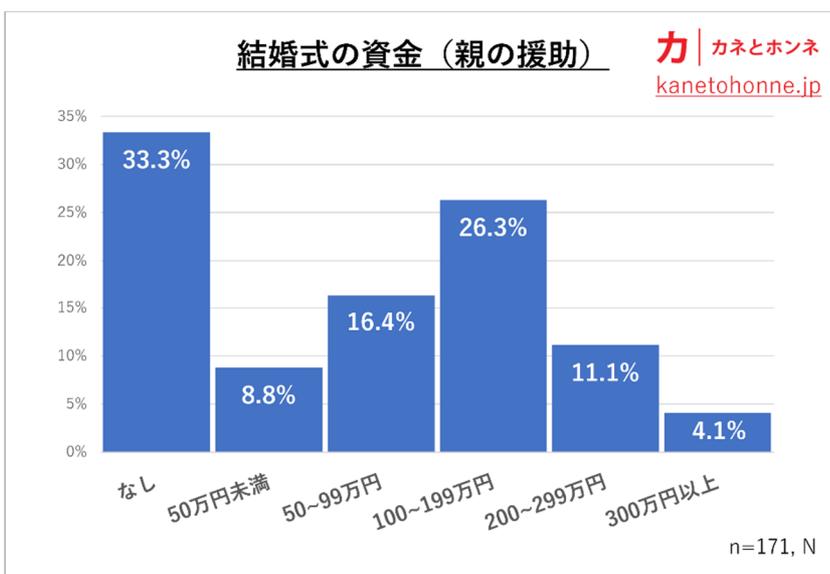
3. 貯金からの拠出は平均 133.8 万円！

貯金から工面した結婚資金は平均 133.8 万円。傾向としては、100 万円台が 29.2% で約 3 割となっていました。300 万円以上が 12.3% である一方、「拠出なし！」と思いきりの良いカップルが 13.5% いることも分かりました。



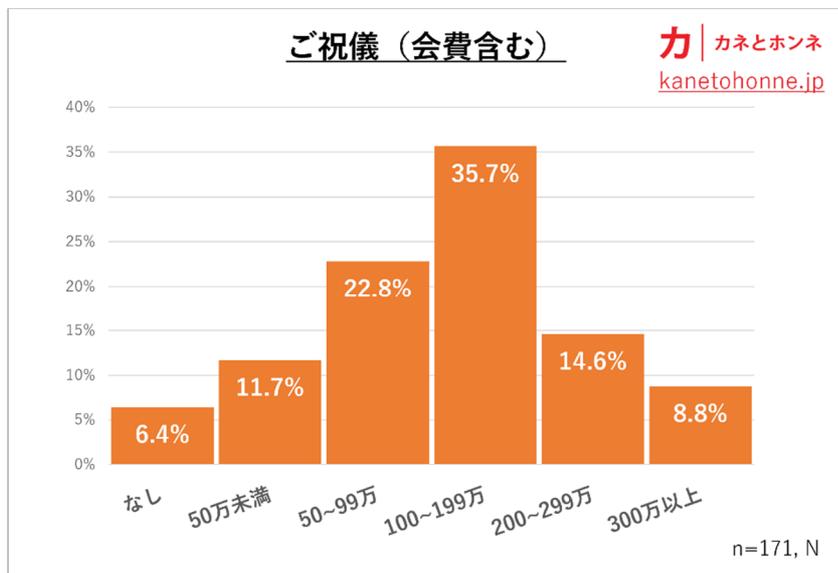
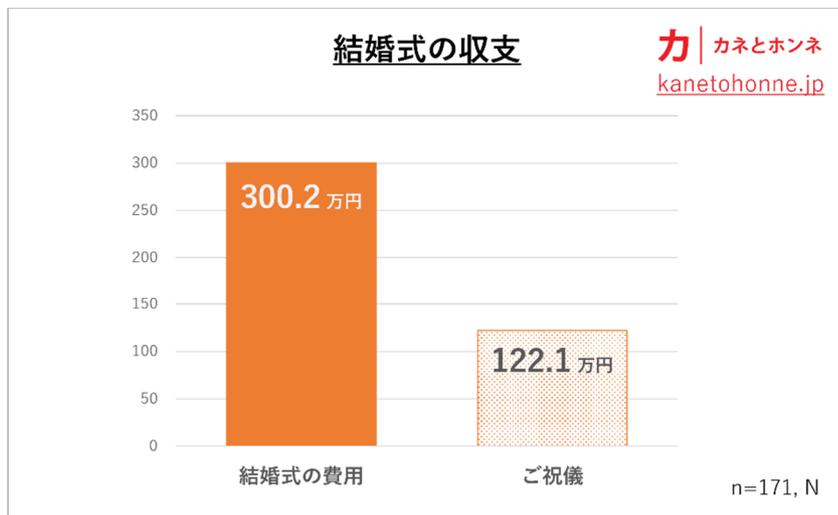
4. 親からの資金援助、約 7 割！

親が結婚資金の援助をしている割合は 66.7% で約 7 割、援助金額は平均 76.3 万円でした。援助なしが 33.3% いるため平均値が押し下げられていますが、分布をみると 100 万円代が 26.3% と多くなっています。結婚費用が平均 300.2 万円ということもあってか、親が少なからぬ負担をして初めて式が成立するケースがあるのかもしれません。



5. ご祝儀で賅うにはほど遠い！？ 6割は自己資金で

ご祝儀の平均は122.1万円。結婚式の費用の約4割に相当します。逆にいうと、6割は自分たちで工面する必要があります。分布をみると（次のグラフ）、100万円代にピークがあり、99万円以下にやや偏っているのがわかります。ご祝儀への過大な期待は禁物で、少なからぬ金額を用意する必要があるようです。



【調査概要】

調査名称：結婚式にかかる費用についてのアンケート

調査期間：2023年8月28日

調査対象：都市部（東京、愛知、大阪、福岡）に居住する20～39歳の既婚男女

調査数：412名

調査方法：Webアンケート

■カネとホンネ調査研究所（Kane-Honne Research Institute）

カネとホンネ調査研究所は、働く世代の日常的な懐事情や、人生の節目における金勘定を、その本音とともに調査することで実態を解明し、広く世の中に提供することを目的として設立しました。

これまで明白なようで曖昧だった、お金にまつわる本音を独自調査で解明。客観的なデータにこだわり、公平公正な視点で、令和日本の“カネとホンネ”を紐解いていきます。

<https://kanetohonne.jp>